

錦江湾横断道路の実現に向けて

◎企画政策課秘書広報係
☎ 32-1017



▲左から角野県議、郷原県議、大久保県議、前野県議、鶴田県議、塩田知事、尾脇市長、堀内市議会議長、池山市議、宮迫市議

官民一体の協議会設立

◎垂水市錦江湾横断道路推進協議会の役員（敬称略）

役職	氏名	所属
名誉会長	水迫 順一	前垂水市長
会長	尾脇 雅弥	垂水市長
副会長	八木 申一郎	垂水経済同友会 会長
副会長	川井田 守	垂水市商工会 会長
副会長	堀内 貴志	垂水市議会 議長
副会長	池山 節夫	錦江湾横断道路推進特別委員会 委員長
理事	海老原 廣達	垂水市副市長
理事	郷原 拓男	鹿児島県議会 議員
理事	大久保 博文	鹿児島県議会 議員
理事	前野 義春	鹿児島県議会 議員
理事	角野 毅	鹿児島県議会 議員
理事	篠原 重人	垂水市漁業協同組合 代表理事 組合長
理事	久永 高広	牛根漁業協同組合 代表理事 組合長
理事	池田 政春	垂水市建設業組合 組合長
理事	大迫 清美	農業者政治連盟 垂水支部 支部長
監事	川越 信男	国道整備促進特別委員会 委員長
監事	竹之内 信一	垂水市観光協会 会長
事務局長	宮迫 隆憲	錦江湾横断道路推進特別委員会 副委員長

市内の官民一体で組織する垂水市錦江湾横断道路推進協議会が8月8日に設立されました。同協議会は、関係団体相互の連絡協調のもとに、錦江湾横断道路の早期実現のために実施路線化に向けた総合的な活動を推進することを目的としています。

8月31日には、塩田康一鹿児島県知事を表敬し、同協議会設立の報告および令和3年に策定された「かごしま新広域道路交通ビジョン」および「かごしま新広域道路交通計画」に構想路線として

位置づけられたことに対してのお礼等をお伝えしました。同道路の早期実現は、交通の利便性向上や生活圏の拡大、観光への活用等、本市をはじめ大隅半島や九州南部地域における産業・経済・文化の発展に寄与するとともに、近年、激甚化傾向にある自然災害への対応や救急医療体制の確保等、防災・医療の観点からも「命を守る道路」であり、必要不可欠です。

市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

燃ゆる感動かごしま国体 綱引競技

◎国体推進課国体推進係
☎ 32-7070



▲チームの最後部に位置する選手はアンカーと呼ばれ、身体に綱を巻いたような持ち方をします。

仲間と息を合わせて綱を引く

●大会結果

種目	都道府県名
少年男子	愛知県
少年女子	秋田県
成年男子	福井県
成年女子	石川県
成年男女混合	福井県



▲少年女子の種目で2位となった鹿児島県B（垂水高等学校）

燃ゆる感動かごしま国体の公開競技である綱引競技が、8月19日、20日に垂水中央運動公園体育館で開催されました。

同競技は、選手8人（各種目体重の制限があります）で構成され、相手を4メートル引つ張ると勝敗が決します。また、1900年代はじめはオリンピックの種目でもありました。

大会には、全国の各ブロック予選を勝ち抜いた少年男子・女子、成年男子・女子、成年男女混合の合計29チーム、約308人が参加しました。

選手たちは、日頃の練習の成果を発揮し、白熱した試合が展開され、運動会をよく目にする同競技の姿はなく、腰を落とし力と技術を駆使した迫力のあるものでした。

同大会には、垂水高等学校の生徒が少年男子・女子に県代表として3チームが出場しました。その様子は、本誌10ページから掲載しています。